

平成26年度
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書
(平成25年度実施事業)

川口市教育委員会

も く じ

■ はじめに

1 趣 旨	—	1
2 目 的	—	1
3 外部評価の対象	—	1
4 外部評価の方法と順序	—	1
5 評価の区分	—	1
6 外部評価結果	—	2
7 今後の取り組み	—	2
8 平成26年度外部評価委員	—	2

■ 平成26年度評価結果一覧	—	3
----------------	---	---

■ 施策評価調書

No. 1 幼児教育の充実	—	5
No. 2 義務教育の充実	—	7
No. 3 高等学校教育の充実	—	11
No. 4 学校の教育力の向上	—	13
No. 5 学校教育施設の耐震化の推進	—	15
No. 6 社会教育施設の整備・充実	—	17
No. 7 生涯学習事業の充実	—	19
No. 8 生涯学習活動の支援	—	21
No. 9 スポーツ・レクリエーション活動の支援	—	23
No. 10 スポーツ施設の整備・充実	—	25
No. 11 文化芸術活動の支援	—	27
No. 12 文化施設の整備・充実	—	29
No. 13 文化財の保護と活用	—	31
No. 14 歴史的文書の保存と活用	—	33

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という。）の結果をまとめたものです。

2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき14の施策を掲げています。この施策は、年度毎に策定している教育行政重点施策とも重なっていることから、平成25年度と同様に、この14施策を外部評価の対象としました。

4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により職員による内部評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験等を有する外部の方々から、ご評価をいただくとともに、ご意見、ご助言をいただきました。

5 評価の区分

「25年度における取り組みの内容」、「25年度における取り組みの成果」、「残されている課題」及び「指標の達成状況」等を総合的に判断し、下記の4つの区分にて内部評価及び外部評価を行いました。

- 「A」…施策の目的実現に向けて25年度の目標は達成されている。
- 「B」…施策の目的実現に向けて25年度の目標は概ね達成されている。
- 「C」…上記Bと比較して達成状況は低い。
- 「D」…施策の目的実現に向けて25年度の目標はほとんど達成されていない。

6 外部評価結果

全14施策の外部評価結果は、「A：達成されている」との評価が10施策、「B：概ね達成されている」との評価が4施策で、14施策全てが、内部評価と同じ又は内部評価結果よりも高い評価となりました。

委員からは、本市教育委員会において取り組んでいる全14施策について、「達成されている」又は「概ね達成されている」との評価を頂きましたが、一方で、「市立幼稚園と私立幼稚園が合同の研修や教育研究など交流する場を設けることも提案の一つとしたい」、「今後、若年層や新しい団体が利用しやすいシステムづくりや行事の企画などを工夫するよう期待したい」、「アンケート調査等によって市民のニーズを把握し、応えていくなど、今後も更なる努力を期待したい」、「今後は開催場所や時期、広報などのPRの方法を改めて検討し、来場者の人数増加に向け努力して欲しい」等の今後の改善に向けてのご意見、ご助言をいただきました。

7 今後の取り組み

教育委員会では、今回の外部評価で頂いたご意見、ご助言を元に、検討を進め、今後の事業へのフィードバックを行い、本市独自の教育行政の推進に努めていきます。

また、施策と事業について、関連性を精査し、見直しを図るなど、より分かりやすい評価を実施し、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

8 平成26年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏名	備考
大島 丈志	文教大学 教育学部 准教授
関 有孝	川口市PTA連合会
渡邊 秀人	川口市退職校長会

平成26年度評価結果一覧

章	節	施策 No.	コード	施策名	施策主管課	平成26年度							
						内部評価（職員における評価）				外部評価			
						達成 （A） されている	概ね 達成 （B） されている	達成 状況 （C） は低い	ほとん ど達 成さ れて いない （D）	達成 （A） されている	概ね 達成 （B） されている	達成 状況 （C） は低い	ほとん ど達 成さ れて いない （D）
第2章 教育・文化													
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進													
		No.1	211	幼児教育の充実	教育総務課		○				○		
		No.2	212	義務教育の充実	指導課		○			○			
		No.3	213	高等学校教育の充実	学務課	○				○			
		No.4	214	学校の教育力の向上	指導課	○				○			
		No.5	215	学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○			
第3節 生涯学習の推進													
		No.6	231	社会教育施設の整備・充実	生涯学習課		○				○		
		No.7	232	生涯学習事業の充実	生涯学習課		○				○		
		No.8	233	生涯学習活動の支援	生涯学習課	○				○			
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進													
		No.9	241	スポーツ・レクリエーション活動の支援	スポーツ課	○				○			
		No.10	242	スポーツ施設の整備・充実	スポーツ課	○				○			
第5節 文化芸術の振興													
		No.11	251	文化芸術活動の支援	文化推進室	○				○			
		No.12	252	文化施設の整備・充実	文化推進室	○				○			
第6節 文化財の保護・活用													
		No.13	261	文化財の保護と活用	文化財課			○			○		
		No.14	262	歴史的文書の保存と活用	文化財課	○				○			
計						9	4	1	0	10	4	0	0

施策評価調書

施策No. 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先 2451

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育む。学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境の整備をする。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
教職員の資質の向上のため、私立幼稚園協会や市内の各認可私立幼稚園が実施した研修等に対して、研修費の助成を行った。加えて、教育環境整備のため市内の認可私立幼稚園が施設改善のために借り入れた資金について、その利子部分の助成を行った。また、市立幼稚園については、特色ある幼稚園づくりの推進のための人材を派遣した。	研修費の助成など、各種補助金等を交付することにより、教職員の資質の向上や幼稚園施設の整備の促進など、幼児教育の充実に図られた。また、認可市立幼稚園に人材を派遣することにより、特色ある幼稚園づくりが推進されるとともに、幼稚園を取り巻く地域の見直しや、地域の人材を活用した教育活動が展開された。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

施策目的を達成するため、認可私立幼稚園・認可市立幼稚園相互の連携と、幼稚園と小学校の連携が課題となっている。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/定員数×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	91.0	91.0	92.0	92.0	93.0			
	実績値・達成状況	91.3	達成	91.5	達成	91.9	未達成	90.9	未達成
指標②	名称	就園率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/3、4、5歳児人口×100 過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	66.0	66.0	67.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	66.5	達成	66.6	達成	66.8	未達成	66.8	未達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「一」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	683,586	809,102	840,325	876,350	1,216,624
	概算人件費	17,055	14,801	20,489	15,415	16,515
	総事業費	700,641	823,903	860,814	891,765	1,233,139

事業費及び概算人件費の変動要因 私立幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園園児保護者補助金、無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金の幼児一人当たりの補助金の額が増加したため、事業費が増となった。

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	各種補助金等の交付(一部補助金は平成24年度よりも増額して交付)及び人材の派遣等により、教育環境の整備を展開することができたと考え、指標が目標値を達成できていないため、Bと判断した。	
	(前回評価結果)		
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育むために、引き続き認可私・市立幼稚園への助成を行い、教育環境の整備を進める。また、幼児が幼稚園等に通園することができるよう、幼児の保護者の経済的負担を軽減するための助成を行う必要がある。そのため、平成26年度は、就園奨励費補助金等の補助金の額を拡充して実施していく。	外部評価	評価結果	B
(前回評価結果)		B	
		B	

施策No. 2

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

子どもたち一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、健康教育と学校給食の充実、教育環境の整備・施設整備の充実、特別支援教育の充実、家庭・地域との連携に取り組み、子どもたち一人一人に「生きる力」を育む義務教育の充実を図る。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
子どもたちに生きる力を育むために、学力向上推進委員会、徳力向上推進委員会、体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めた。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んだ。	小中学校とともに、近年、体力向上や健康教育等において全国表彰を受ける学校が出た。また、特別支援学級の新設や学校給食の改革など一定の成果をあげることができた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

学力向上については、中学校で課題の残る結果となった。各学校の児童生徒の課題に対して有効な手立てを講じる必要がある。また、体力テストでは目標値を上回っており、これを維持するための計画的対応が必要である。

指標①	名称	基礎学力定着度(小学校)☆				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第6学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	94.2	未達成	96.6	達成	95.9	達成	96.7	達成
指標②	名称	基礎学力定着度(中学校)☆				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第3学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.4	未達成	92.1	未達成	92.0	未達成	89.6	未達成
指標③	名称	小中学校体力テスト結果☆				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	54.2	達成	52.8	達成	51.4	達成	56.3	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	1,089,510	3,008,042	3,549,532	6,901,883	3,334,160
	概算人件費	121,725	207,936	200,568	226,283	211,068
	総事業費	1,211,235	3,215,978	3,750,100	7,128,166	3,545,228
事業費及び概算人件費の変動要因	元郷学校給食センター建設による。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B (前回評価結果)	小学校における学力向上および体力テストについては引き続き目標を達成しているものの、中学校学力においては平成25年度も未達成となった。現状に対する課題点の把握と、有効な手立ての確立が求められる。	
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実に努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図る。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120041	放課後子どもプラン事業	生涯学習課	14,907	19,823	20,813	拡充して実施
			5,810	5,810	5,810	
2120056	川口市PTA連合会補助金	生涯学習課	1,025	1,025	1,025	現状維持で実施
			0	0	0	
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	指導課	54,276	5,320	5,440	現状維持で実施
			415	415	415	
2120071	専任講師配置事業	学務課	8,915	12,775	19,198	拡充して実施
			830	830	830	
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	73,146	74,183	80,811	現状維持で実施
			10,400	10,400	10,400	
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	159,033	147,931	161,023	現状維持で実施
			24,900	24,900	24,900	
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,065	1,118	1,231	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,660	
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	24,895	25,099	26,349	現状維持で実施
			7,802	7,802	7,802	
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	2,248	4,945	4,680	現状維持で実施
			415	415	415	
2120136	学校等災害見舞金	学務課	155	140	150	現状維持で実施
			0	0	0	
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,290	1,290	1,320	現状維持で実施
			415	415	415	
2120156	必修外クラブ活動助成金	学務課	7,153	7,085	7,170	現状維持で実施
			398	398	398	
2120166	プラスバンド活動助成金	学務課	7,050	7,150	7,350	現状維持で実施
			398	398	398	
2120176	記念事業費助成金	学務課	1,300	700	200	現状維持で実施
			0	0	0	
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	54,175	57,362	57,141	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120191	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	4,856	4,844	4,840	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	322,834	324,980	331,410	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	1,012	1,013	1,012	現状維持で実施
			830	830	830	
2120232	教育研修生事業	指導課	36	58	36	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120242	教育講演会事業	指導課	291	292	292	現状維持で実施
			0	0	0	
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	73,336	75,120	73,320	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部 評価 委員 の コ メ ン ト	<p>中学校における基礎学力定着度の目標値が未達成であるという課題もあるが、小学校においては着実に成果をあげており、多岐にわたる事業を行い、細やかな努力をしている。今後も引き続き、市教育委員会の指導を学校長はじめ教職員に浸透させるよう努め、現状の課題に学校全体で取り組んでいくような体制にして欲しい。</p>
---	--

施策評価調書(2)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120262	川口こども造形展事業	指導課	429	451	444	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120272	小学校学習支援事業	指導課	2,670	3,180	2,220	現状維持で実施
			830	830	830	
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	102	153	153	現状維持で実施
			860	860	860	
2120292	中学校学習支援事業	指導課	850	610	610	現状維持で実施
			830	830	830	
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	140	229	132	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	40	40	10	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	240,153	240,153	230,122	現状維持で実施
			13,695	13,695	13,695	
2120332	学力向上支援事業	指導課	119	126	80	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	11,847	12,000	12,510	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	331	373	373	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	6,712	8,819	10,564	現状維持で実施
			830	830	830	
2120372	障害児就学支援事業	指導課	602	1,017	1,080	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2120382	きらり川口夢わく社会体験事業	指導課	801	811	801	現状維持で実施
			830	830	830	
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	5,700	5,700	5,700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	450	現状維持で実施
			0	0	0	
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	177	177	177	現状維持で実施
			0	0	0	
2120446	職業教室開催補助金	指導課	166	122	122	現状維持で実施
			830	830	830	
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	30	現状維持で実施
			0	0	0	
2120461	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	2,652	3,142	2,923	現状維持で実施
			830	830	830	
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	58,099	73,341	5,845	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,660	
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	2,268	2,281	2,326	現状維持で実施
			1,720	1,720	1,720	
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	160	200	237	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,660	
2120503	新学校給食センター建設事業	学校保健課	348,508	3,518,450	0	完了
			4,150	17,015	0	
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	791	70	900	現状維持で実施
			860	860	860	
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,400	1,200	1,100	現状維持で実施
			860	860	860	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策No. 3

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	2482	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
市立高校3校に各1人の就職カウンセラーを配置し、就職支援を行い、また、経済的な理由により就学が困難な生徒に対して奨学金貸付事業を実施した。 また、新市立高等学校建設事業を本格的に開始した。	経済的支援を行ったことにより多くの生徒に修学の機会を与えることができ、また、高校生活が充実したものとなるよう、学習の支援とともにクラブ活動等への助成、生徒一人一人にあった卒業後の進路の支援を行った。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

これまでの取り組みや支援状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実させる必要がある。
また、新市立高等学校建設事業においては、慎重な資金計画が必要であるとともに、生徒数の大幅な削減をすることとなるため、周辺の県立高校への受入について、県教育委員会との調整をしなければならない。

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	就職内定者÷就職希望者×100 過去の就職内定率の推移から100%を目標に就職支援を行っている。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	93.2	未達成	100.0	達成	100.0	達成		
指標②	名称	大学進学率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	市立3高校(全日制)における 大学・短期大学の進学者数÷在籍者数×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	61.9	達成	64.2	達成	63.5	達成	60.4	達成
指標③	名称	奨学金貸付人数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	修学金貸付人数+入学一時金貸付人数 貸付人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	526.0	587.0	631.0	600.0				
	実績値・達成状況	526.0	達成	587.0	達成	631.0	達成	600.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
* 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	215,791	230,751	251,269	250,070	259,776
	概算人件費	7,395	8,170	8,251	23,191	23,191
	総事業費	223,186	238,921	259,520	273,261	282,967
事業費及び概算人件費の変動要因	奨学金貸付において、市から直接の貸し出しから金融機関からの融資へと見直したことにより、事業費が大きく減額したものの、新市立高校建設事業が開始したため、事業費及び人件費が大きく増になったことに伴い、総事業費が増となったもの。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	奨学金貸付事業においては、多くの生徒に修学するための経済的支援とともに、事業の効率化も図られており、卒業後の進路では、就職内定率及び進学率も目標値を達成しているため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
財政状況を勘案しながら、可能な限り各事業の充実を図っていくとともに、大学進学率が向上するよう努めていく。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策No. 4

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切である。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図る。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図る。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、ジュニア議会、校外学習など児童・生徒に魅力ある事業を提供した。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を図った。	本市の特色ある教育活動の推進や、教員の能力を高める教員研修の充実、その他、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する事業など教育力の向上に寄与しているものとする。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

教員の資質向上のための継続した研修プログラムの充実・改善が必要である。また、いじめ、不登校、非行などの課題解決のため、引き続き教育相談等の体制整備や各分野の研究が必須である。さらに、本市独自の特色ある教育活動を進めるため、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する魅力ある事業研究が必要となる。

指標①	名称	不登校率(小学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	0.32	0.31	0.31	0.30	0.30			
	実績値・達成状況	0.32 達成	0.30 達成	0.34 未達成	0.24 達成				
指標②	名称	不登校率(中学校)				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3.80	3.60	3.40	3.30	3.20			
	実績値・達成状況	3.73 達成	3.59 達成	3.80 未達成	3.25 達成				
指標③	名称	教員研修満足度				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	教職員研修における満足度調査においてアンケート調査を実施し、「概ねよい」以上の評価を得た割合(H23年度より実施)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	-	95.00	95.00	95.00	95.00			
	実績値・達成状況	-	96.5 達成	96.6 達成	96.3 達成				

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「-」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	145,274	154,649	156,573	162,628	172,573
	概算人件費	70,120	67,080	62,931	62,931	62,931
	総事業費	215,394	221,729	219,504	225,559	235,504
事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について費用の見直しを行っているほか、事業実施コスト等の変動による。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	特色ある教育活動の充実、教職員研修の充実、教育相談の充実のための各事業についてそれぞれ一定の成果が見られた。	
	(前回評価結果)		
	B		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組む。			A
			(前回評価結果)
			B

施策評価調書(2)

評価対象年度 25年度

施策コード 214 施策名称 2章1節 学校の教育力の向上

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	3,342	3,442	3,471	現状維持で実施
			13,280	13,280	13,280	
2140026	学校サポートプラン交付金	指導課	8,300	8,670	8,649	現状維持で実施
			4,831	4,831	4,831	
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	6,556	6,716	6,506	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,659	8,772	8,462	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140052	ジュニア議会事業	指導課	161	173	178	現状維持で実施
			830	830	830	
2140062	校外学習事業	指導課	25,449	29,137	41,701	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	894	900	800	現状維持で実施
			830	830	830	
2140082	その他教育研修事業	指導課	412	467	497	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140092	課題研究事業	指導課	25	25	116	現状維持で実施
			830	830	830	
2140102	学校経営研修事業	指導課	217	268	264	現状維持で実施
			830	830	830	
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	135	136	108	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	46,633	46,980	45,240	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	17,713	18,088	18,083	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2140152	教育相談員活用事業	指導課	34,129	34,554	34,658	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,300	
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	1,286	1,441	1,002	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2140172	日本語補充教室事業	指導課	303	439	418	現状維持で実施
			830	830	830	
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	949	1,010	1,010	現状維持で実施
			830	830	830	
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			0	0	0	
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60	60	現状維持で実施
			0	0	0	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント
 いじめ・不登校に関する相談が増加傾向にある学校に指導主事が連絡をとり、学校と連携して解決できるような体制づくりは、大変素晴らしい実践である。教育相談室の数が少ないなどの課題もあるが、目標を達成しており、今後も改善に向け、引き続き取り組んで欲しい。また、川口市にはあまり知られていない偉人・文化財が数多くあるので、今後、教育を通して広く知らしめるよう努力して欲しい。

施策No. 5

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先	2454	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全を確保することはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
小・中学校耐震化整備計画に基づき4校4棟の耐震補強工事を実施。幸町小学校は基本設計、青木中央小学校は解体工事・グラウンド整備、旧元郷南小学校は解体工事、芝中学校特別教室棟解体工事、十二月田中学校は解体・改築工事、仲町中学校は改築工事、南平幼稚園は耐震診断をそれぞれ実施。芝西小学校1棟、芝富士小学校1棟の未使用化を実施。	4校4棟の耐震補強工事の実施、芝中学校特別教室棟の解体、芝西小学校1棟、芝富士小学校1棟の未使用化、仲町中学校北校舎の完成に伴い、目標値96.6%を達成。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、地震防災対策特別措置法による平成27年度までの補助の特例を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震化棟数÷学校施設総数×100 小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(28年度)			
	目標値	70.3	80.4	92.9	96.6	100.0			
	実績値・達成状況	70.3 達成	82.0 達成	93.2 達成	96.6 達成				
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	4,525,137	1,740,539	2,848,048	2,014,659	1,095,889
	概算人件費	14,355	9,030	9,545	10,624	3,154
	総事業費	4,539,492	1,749,569	2,857,593	2,025,283	1,099,043
事業費及び概算人件費の変動要因	小中学校耐震補強計画及び教育施設整備計画に基づき実施					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	小・中学校耐震化整備計画に基づき、25年度の目標値に達成したため。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
財政状況を勘案したうえで、計画に基づき残りの耐震化を進めるよう努める。		A	
		(前回評価結果)	
		A	

施策No. 6

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2461	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民が地域社会で生涯にわたり、学び続け、生きがいつくり、自己実現を可能にすること。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をした。図書館は市全域を対象とした学習施設として誰もが気軽に利用できる施設として機能充実を図った。7月1日より資料の返却遅滞者に利用制限を開始した。科学館はプラネタリウムの機器の設計及び借上を行った。	公民館の講座参加者数は順調に推移し、また、施設の安全性の確保も計画的に進めることができた。図書館は、利用制限を実施することにより、督促件数及び郵便料金を削減することができた。科学館は安定した投影と質の高い映像を提供することができた。
残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)	
公民館等の施設は、利用者数が横ばい状態となっており、利用者が固定化する傾向にある。また、老朽化している施設・機器については、計画的に補修等を進める。図書館は、図書館資料の精選と充実を図ることが課題である。科学館は、新しい機器に対する情報が少ないことから機能を十分に活かした投影が難しい。	

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの 第4次川口市総合計画の目標指標							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	263000.0	263000.0	261000.0	268000.0	280000.0			
	実績値・達成状況	264057.0 達成	256629.0 未達成	277967.0 達成	259297.0 未達成				
指標②	名称	図書館資料貸出数(定置館分)☆				単位	点	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	図書館資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標指標より移動図書館及び文庫分を除いたもの							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3100000.0	3300000.0	3300000.0	3400000.0	3740000.0			
	実績値・達成状況	3184007.0 達成	3144163.0 未達成	3314980.0 達成	3232051.0 未達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	1,320,634	667,768	772,473	791,092	790,118
	概算人件費	137,227	330,494	317,950	284,668	285,059
	総事業費	1,457,861	998,262	1,090,423	1,075,760	1,075,177
事業費及び概算人件費の変動要因	市街地施設付住宅耐震補強事業等による増額や事務量の見直し等のため					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B (前回評価結果)	公民館・専門施設の講座参加者数は順調に推移した。図書館については、中央図書館で蔵書数の増加に伴い図書特別休館日を増やし、地域館では改修工事のために休館した。これら休館日増加のために貸出数は減少したが、指標はほぼ達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	市民の生涯学習活動を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の設備、機能の充実を図る。		
	評価結果		
	B (前回評価結果) A		

施策評価調書(2)

評価対象年度 25年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2310022	施設予約システム事業	生涯学習課	768	0	1,250	現状維持で実施
			4,980	2,490	4,980	
2310042	公民館施設運営事業	生涯学習課	160,983	168,305	175,024	現状維持で実施
			6,142	6,142	7,719	
2310052	婦人会館施設運営事業	生涯学習課	509	544	621	現状維持で実施
			11,850	11,850	10,690	
2310062	青少年会館施設運営事業	生涯学習課	288	356	527	拡充して実施
			11,850	11,850	10,690	
2310072	文化会館施設運営事業	生涯学習課	778	801	801	現状維持で実施
			15,480	15,480	10,150	
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	生涯学習課	1,295	1,397	1,326	現状維持で実施
			13,740	13,740	15,360	
2310113	市街地施設付住宅耐震補強事業 (公民館等)	生涯学習課	37,818	29,912	0	完了
			581	664	0	
2310152	図書館施設運営事業	中央図書館	424,816	434,204	459,132	現状維持で実施
			248,430	213,570	219,660	
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館) *	中央図書館	0	0	0	休止
			0	0	0	
2310302	社会教育施設指定管理者管理運営 事業	中央図書館	117,935	118,480	124,667	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,150	
2310323	図書館耐震診断事業	中央図書館	0	6,699	2,409	効率化して実施
			0	1,660	1,660	
2310333	社会教育施設耐震診断事業(青年・ 婦人会館)	生涯学習課	0	4,725	0	完了
			0	664	0	
2310341	プラネタリウム改修事業	科学館	0	25,669	24,361	縮小して実施
			0	2,408	0	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

補足	指標②「図書館資料貸出数(定置館分)」と施策コード232、施策名称「2章3節 生涯学習事業の充実」に記載されている、指標②「図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)」を合算したものが第4次川口市総合計画に記載されている図書館資料貸出数となる。
外部評価委員のコメント	社会教育施設の利用者の高齢化が進んでいるため、今後は、施設のバリアフリー化や耐震化など、利用しやすい施設整備を進めて欲しい。また、利用者の固定化も課題となっており、今後、若年層や新しい団体が利用しやすいシステムづくりや行事の企画などを工夫するよう期待したい。

施策No. 7

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2463	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
 市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としている。また、近くに図書館がない市民にもサービスの提供を図るとともに、子どもたちには、発達段階に応じたおはなし会を開催するなど、多様な方々に学習の機会を提供する。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
川口市民大学は現代的課題等の講座を開催し、また、放送大学や埼玉学園大学等の高等教育機関と共催するなど、多種多様な幅広い講座を展開した。図書館は移動図書館の巡回や文庫運営事業を行うとともに、おはなし会などを開催した。科学館は開館10周年にあたり特別企画事業に力をいれた。	市民大学は高等教育機関と連携し共催することにより、質の高い講座が開催できた。図書館は高齢者や幼児・児童など、なかなか図書館に來られない市民に身近な図書館サービスの提供ができた。おはなし会等主催事業も好評。科学館は、プラネタリウム改修のため全体の事業参加者数は減少したものの、特別企画事業においては入場者数が増加した。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)
 「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させ、市民の知的欲求に応えることが今後の課題となっている。
 科学館は、利用者ニーズに十分応えられる施設として機能充実を図るために、老朽化している科学展示室機器の改修を進める。

指標①	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	定員に対する応募者数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	124.3	達成	120.3	達成	104.4	達成	97.7	未達成
指標②	名称	図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)☆				単位	点	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	移動図書館及び文庫の資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標より定置館分を除いたもの							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	48000.0	90000.0	100000.0	110000.0	120000.0			
	実績値・達成状況	48232.0	達成	90652.0	達成	124149.0	達成	122611.0	達成
指標③	名称	科学館事業参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	科学館の各事業参加者数の合計							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0			
	実績値・達成状況	127694.0	未達成	142198.0	達成	166066.0	達成	156441.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	2,037	74,617	76,709	81,002	75,561
	概算人件費	6,960	88,644	91,819	93,632	96,802
	総事業費	8,997	163,261	168,528	174,634	172,363

事業費及び概算人件費の変動要因
 事業数及び事業内容の充実を図ったため、事業費が増加した。

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	指標はほぼ達成されており、子どもから大人まで多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	市民に多様な学習機会を提供するため、社会人などの若い世代に目を向けた事業を展開するなど、幅広い世代に向けたサービスの提供を図る。図書館は、移動図書館・文庫の図書館資料の充実を図り市民の知的欲求に応える。また、主催事業の充実を図り、PRに努める。科学館は、利用者ニーズに十分応えられる施設として機能充実を図るために、老朽化している科学展示室機器の改修を進める。		
外部評価	評価結果	B	
	(前回評価結果)	A	

施策No. 8

施策評価調書(1)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2463	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>市民が、公民館を利用しての相互学習の成果発表や、また、公民館や図書館で実施する各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづりに繋げていくことを目的としている。</p>
--

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
生涯学習社会の中で、市民が公民館や図書館等の社会教育施設を活用して、各種講座で身につけた知識や技術の提供や、相互学習の成果発表を通じて他の人々の学習に活かした。	公民館は、各種講座で身につけた知識や技術を人材バンクの制度を活用して他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづりに繋がった。また、図書館は、読み聞かせの方法や視覚障害の方に対し効果的な読み聞かせや朗読の提供ができ、読書環境の向上が図れた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)
市民に対して限りある財源の中で活動を支援するには、内容が充実した事業の展開の他に、自己の生活の向上や、職業上の能力の向上、自己の充実に結びつく事業の実施が必要である。

指標①	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの登録者数 過去3年間の登録者数の平均値を目標値とした。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0			
	実績値・達成状況	189.0	未達成	202.0	達成	193.0	未達成	210.0	達成
指標②	名称	公民館地区文化祭参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各公民館地区文化祭の参加人数 過去5年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	40000.0	40000.0	45000.0	45000.0	45000.0			
	実績値・達成状況	41434.0	達成	43237.0	達成	51135.0	達成	45115.0	達成
指標③	名称	ボランティア研修会参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	読み聞かせボランティア講座・音訳研修会・点訳研修会の延べ参加人数の合計。過去3年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	600.0	600.0	700.0	700.0	800.0			
	実績値・達成状況	613.0	達成	676.0	達成	797.0	達成	736.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達成を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	48	3,898	4,370	4,183	4,521
	概算人件費	4,350	9,460	9,130	9,130	9,130
	総事業費	4,398	13,358	13,500	13,313	13,651

事業費及び概算人件費の変動要因	事業費・事務量の見直しによる。
-----------------	-----------------

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	指標は、すべて達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、多くの市民の生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上や自己の充実が図られる事業を実施していく。 また、ボランティア研修会については、定期的な養成講座とその後のフォローアップ講座などを継続的に行ない、生涯学習社会を見据えた取り組みを充実させる。			A
			(前回評価結果)
		B	

施策No. 9

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの方がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援するもの。また、社会体育普及のためのスポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実を図ることを目的とするもの。</p>
--

<p>25年度における取り組みの内容</p> <p>川口市内を活動拠点とする市民団体、(公財)川口市体育協会に加盟している団体に対して、レクリエーションの普及啓発事業、競技選手の育成事業に関する事業を支援することにより、団体の活性化を図った。</p>	<p>25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</p> <p>スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種の広報を展開するなどの周知を行い、年々参加者数が増加していることからスポーツの推進に寄与したものの。</p>
--	---

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>日常生活の中でスポーツを楽しむことが容易になってきたようだが、少子高齢化という社会変化に対応できるスポーツ活動の環境を整える必要がある。</p>
--

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計 前年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	41700.0	54944.0	55358.0	56022.0	57400.0			
	実績値・達成状況	59163.0	達成	55034.0	達成	55407.0	達成	56479.0	達成
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100 最大参加率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	96.0	97.0	97.0	98.0	100.0			
	実績値・達成状況	105.0	達成	97.0	達成	97.0	達成	98.5	達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達成を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	858,217	81,247	92,556	95,560	96,961
	概算人件費	155,193	66,994	64,657	64,657	64,657
	総事業費	1,013,410	148,241	157,213	160,217	161,618

事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。
-----------------	-------------------------------

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	川口市の世代間交流や健康増進への意欲向上となる機会を提供し、多くの方に参加を通じ、スポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただくことが事業の趣旨と考え評価したものである。	
	(前回評価結果)		
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価
更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して生涯スポーツの普及や市民スポーツの推進に努めていくものである。また、競技スポーツにおいても支援を行っていく。		A	
		(前回評価結果)	
		B	

施策評価調書(2)

評価対象年度 25年度

施策コード 241 施策名称 2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	スポーツ課	1,802	1,737	2,103	現状維持で実施
			830	830	830	
2410032	各種体育大会開催事業	スポーツ課	362	359	400	現状維持で実施
			166	166	166	
2410042	川口市体育三賞事業	スポーツ課	391	317	378	現状維持で実施
			2,241	2,241	2,241	
2410052	市民選手権大会事業	スポーツ課	5,971	5,971	5,971	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,300	
2410062	川口マラソン大会事業	スポーツ課	13,777	13,777	13,777	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,300	
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	スポーツ課	6,007	6,007	6,007	現状維持で実施
			830	830	830	
2410092	市民体育祭事業	スポーツ課	1,055	1,204	1,078	現状維持で実施
			3,320	3,320	3,320	
2410102	スポーツ教室開催事業	スポーツ課	1,106	1,543	1,469	現状維持で実施
			20,750	20,750	20,750	
2410122	スポーツ推進委員事業	スポーツ課	11,058	13,880	14,446	拡充して実施
			4,980	4,980	4,980	
2410136	学校体育奨励交付金	スポーツ課	2,158	2,158	2,073	現状維持で実施
			830	830	830	
2410146	体育協会事業交付金	スポーツ課	24,997	24,997	24,997	現状維持で実施
			3,320	3,320	3,320	
2410156	レクリエーション協会事業交付金	スポーツ課	2,800	2,800	2,800	現状維持で実施
			830	830	830	
2410166	スポーツ少年団事業交付金	スポーツ課	1,249	1,249	1,200	現状維持で実施
			830	830	830	
2410176	社会体育奨励交付金	スポーツ課	13,168	13,168	12,771	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2410186	県代表選手派遣交付金	スポーツ課	3,290	2,900	3,296	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	スポーツ課	45	173	405	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,490	
2410206	ツデーマーチ実行委員会交付金	スポーツ課	2,000	2,000	1,900	現状維持で実施
			830	830	830	
2410216	スポーツ推進委員協議会事業交付金	スポーツ課	1,320	1,320	1,890	現状維持で実施
			830	830	830	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント

多岐にわたる事業を行っており、特にツデーマーチは、県内三大マーチの一つとして、市外からも多くの参加者を呼び込んでいる。大会参加者も増加傾向にあり、大会を運営する上で、安全やマナー、駐車場の問題など、多くの課題が出てくると思われるが、今後もよりよい運営を期待したい。

施策No. 10

施策評価調書(1)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康増進やスポーツ人口の拡大を図るもの。</p>

<p>25年度における取り組みの内容</p> <p>指定管理者制度を導入している青木町公園総合運動場・体育武道センターにおいては引き続き施設の有意義な管理運営に努めるため、第2期目の選定を行った。また施設整備においては、3施設の耐震診断及び青木町公園総合運動場野球場人工芝改修を行い、他の施設においても安心・安全な施設の管理運営に必要な修繕を行った。</p>	<p>25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</p> <p>耐震診断事業では、施設の安全確保を計画的に進めることができた。他の施設においても安心・安全な施設の管理運営に必要な修繕を行ったことにより、施設の不備等による事故は無かった。</p>
--	---

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>指定管理者においては、市民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要に応える質の高い市民サービスをどのように展開していくかが課題である。経年劣化が進んで、施設の整備、改修及び設備機器の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。予算の範囲で安心・安全な管理運営を行うしかない状況である。</p>
--

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	利用単位数/利用可能単位数×100							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	61.1	63.3	66.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	63.2	達成	65.1	達成	66.3	達成	67.0	達成
指標②	名称	耐震診断施設数				単位	施設	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震診断実施済み施設数の累計(新耐震基準適合施設含む)/耐震診断対象施設(13施設)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	6.0	7.0	7.0	10.0	13.0			
	実績値・達成状況	6.0	達成	7.0	達成	7.0	達成	10.0	達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	302,000	1,043,254	1,069,507	1,116,188	1,084,158
	概算人件費	6,960	96,880	93,940	97,882	95,185
	総事業費	308,960	1,140,134	1,163,447	1,214,070	1,179,343

事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。
-----------------	-------------------------------

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由				
	(前回評価結果)	A				
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	安心・安全な施設の管理運営を継続的に行い、多くの利用者がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう環境づくりをするものである。				
	外部評価	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>(前回評価結果)</td> <td>A</td> </tr> </table>		評価結果	A	(前回評価結果)
評価結果	A					
(前回評価結果)	A					

施策No. 1 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民に優れた文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供するとともに、文化芸術を担う人材の発掘・育成や文化ネットワークの構築を図ることにより、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の創出を目指す。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
文化三賞の顕彰や、文化活動に対する助成制度、文化団体への補助事業などにより文化芸術活動を担う人材の育成を促進した。また、美術展、ピアノコンクール、文化祭などの実施や市制施行80周年記念事業として成川美術館所蔵の日本画展を実施した。	市内の文化芸術活動を担う人材の発掘や育成を促進し、文化芸術ネットワークの構築を図った。また、市民に対し各種文化芸術事業の鑑賞や創作体験の機会を提供したことで、文化芸術の振興に寄与することが出来た。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

市内の各種文化団体会員の高齢化が徐々にではあるが進んでおり、今後団体が行う文化芸術活動などによる地域の活性化や各種文化芸術の継承等に関して影響が出ることが予想される。

指標①	名称	文化芸術活動を担う人材の登録者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	文化団体のほか、市内を拠点として文化芸術活動を行っている人材の登録者数 毎年度30人程度の増加を見込む。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	680.0	710.0	740.0	770.0	800.0			
	実績値・達成状況	690.0	達成	759.0	達成	822.0	達成	853.0	達成
指標②	名称	鑑賞者の満足度				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業の来場者にアンケートを取り、満足度を尋ねる。満足と回答とした来場者の割合。(平成24年度から実施)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値			100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況			95.1	未達成	90.2	未達成		
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	20,463	18,054	21,727	27,258	25,383
	概算人件費	34,800	32,680	32,204	27,805	23,157
	総事業費	55,263	50,734	53,931	55,063	48,540

事業費及び概算人件費の変動要因 市制施行80周年記念展や、活力ある地域づくり助成金交付事業を新規で実施したことによる事業費の増加。また、職員体制や業務の見直しによる概算人権費の減少。

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	文化団体連合会、美術家協会、市民音楽協会等の団体の高齢化は依然として進行してはいるが、各団体において若手の活躍も見られるようになってきている。また、鑑賞者の満足度調査の結果に対しても目標としていた100%には届かなかったものの90%を超える割合で満足との回答を得ることが出来たため。	
	(前回評価結果)	A	
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
	各種文化事業や文化芸術団体の支援を継続して実施することにより、今後も市民の文化芸術への関心や意欲を高めていく。また、若い世代の人材の発掘、育成を推進していく。		
外部評価	評価結果		
	A		
	(前回評価結果)		
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 25年度

施策コード 251 施策名称 2章5節 文化芸術活動の支援

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	24年度	25年度	26年度	26年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2510012	芸術賞賞賜事業	文化推進室	554	432	981	拡充して実施
			4,150	2,075	2,905	
2510022	文化振興基金活用事業	文化推進室	1,076	1,898	2,366	拡充して実施
			3,320	2,324	2,490	
2510032	市民コンサート事業	文化推進室	682	281	1,220	拡充して実施
			3,320	2,324	2,324	
2510042	歴史的建造物活用事業	文化推進室	1,266	150	987	現状維持で実施
			4,980	3,320	2,241	
2510096	初午太鼓コンクール交付金	文化推進室	1,260	1,260	1,260	現状維持で実施
			415	415	415	
2510106	文化祭実行委員会交付金	文化推進室	3,540	3,540	3,440	現状維持で実施
			3,320	2,490	2,905	
2510116	美術展実行委員会交付金	文化推進室	2,430	2,430	2,430	現状維持で実施
			4,980	2,490	2,905	
2510126	青少年ピアノコンクール実行委員会交付金	文化推進室	3,180	3,180	3,180	現状維持で実施
			4,980	2,490	2,905	
2510136	川口市文化団体連合会補助金	文化推進室	189	189	189	現状維持で実施
			415	415	415	
2510146	川口市民音楽協会補助金	文化推進室	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			415	415	415	
2510156	かわぐち音楽の日実行委員会交付金	文化推進室	3,000	2,800	2,800	現状維持で実施
			415	415	415	
2510166	地域の芸術環境づくり助成事業	文化推進室	3,200	3,000	5,000	縮小して実施
			1,494	1,494	747	
2510172	市制施行80周年記念展覧会事業	文化推進室	0	4,748	0	完了
			0	4,150	0	
2510186	活力ある地域づくり助成事業	文化推進室	0	2,000	0	完了
			0	1,494	0	
2510192	旧芝園中学校アトリエ利用事業	文化推進室	0	0	180	拡充して実施
			0	1,494	2,075	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント
 旧芝園中学校の教室をアトリエとして再利用するなど、アイデアに富んだ事業に取り組んでいる点が評価できる。旧田中家住宅の利用に関しては課題もあるが、企画の内容が重要となってくるので、今後も検討しながら取り組んで欲しい。

施策No. 1 2

施策評価調書(1)

評価対象年度 25年度

施策コード	252	施策名称	2章5節 文化施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

本市の文化芸術の発信基地であるアートギャラリーをハード・ソフトの両面から整備・充実し、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供すると共に市民の幅広い文化芸術活動の活性化を図る。

25年度における取り組みの内容	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場を提供するため、アートギャラリーでの企画展やワークショップの実施のほか、地域コミュニティを促進するため「川口の匠展Vol. 3音をつくる」などの事業を行った。	平成25年度に関しては春の企画展、夏の企画展、秋の企画展、アーティスト・イン・スクールの成果発表、アートな年賀状展等の主催事業、川口市美術家協会選抜展等の共催事業を実施し、また貸館事業等を含めると多くの方に利用、来館していただくことが出来た。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

アートギャラリーについては開館から8周年が経過し、更なる内容の充実を図るために既存の事業を再検討する必要があると思われる。

指標①	名称	アートギャラリーの利用率☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	アートギャラリー(展示室A・B、スタジオ)の利用率 アートギャラリーの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0			
	実績値・達成状況	90.1	達成	92.3	達成	91.2	達成	96.5	達成
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	491,080	492,712	20,980	25,827	23,157
	概算人件費	31,755	27,950	18,675	18,675	18,765
	総事業費	522,835	520,662	39,655	44,502	41,922

事業費及び概算人件費の変動要因

企画展の展示に係る委託料が減少したため。

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	アートギャラリーについては川口の匠展vol.3音をつくるなど「ものづくりの街・川口」を市内はもとより市外、県外の方々に発信できた展覧会を行うなど、指標の目標値を上回ったため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、アートギャラリーの事業の周知、来場促進のための広報活動に努めるなど、工夫して取り組んでいく。			A
			(前回評価結果)
		B	

施策No. 1 3

施策評価調書(1)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先 222-2421

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。
--

25年度における取り組みの内容 文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するため報告会や講演会、展示会等を実施し、また、文化財活用事業として、社会科見学、歴史教室等の学校支援事業を行った。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理を支援した。	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 報告会・展示会等を通して、文化財の保護や活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、小学校・中学校の授業の支援を行うことで、文化財愛護の精神を養うことができた。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護ができた。
--	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 今年度は実施できなかったが、赤山城跡保存整備事業における事業用地の取得に努め、更なる事業の推進が必要である。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介するなど、市民が文化財をより身近に感じられる存在とし、文化財を保存することの大切さを伝える必要がある。
--

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	報告会の参加者人数 募集人数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	120.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	54.0	未達成	72.0	達成	64.0	達成	38.0	未達成
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m ²	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積(25年度は休止)							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	857.3	638.1	1040.7	0.0				
	実績値・達成状況	857.3	達成	638.1	達成	1040.7	達成	0.0	
指標③	名称	指定文化財補助金および交付金				単位	件	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	指定文化財の維持管理に係る補助金および交付金の件数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	52.0	52.0	81.0	81.0	86.0			
	実績値・達成状況	52.0	達成	52.0	達成	78.0	未達成	82.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	49,378	46,471	50,193	8,982	58,082
	概算人件費	3,306	9,761	10,084	6,930	9,462
	総事業費	52,684	56,232	60,277	15,912	67,544

事業費及び概算人件費の変動要因	平成25年度は赤山城跡保存整備事業の用地取得がなかったため、事業費及び概算人件費が大幅に減となっている。
-----------------	--

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	C (前回評価結果)	文化財調査報告会は、日程の調整から広い会場を確保できなかったため、募集人数を参加人数が下回り未達成となった。、赤山城跡保存整備事業の用地取得は今年度は購入しなかったため、未達である。指定文化財補助金については指定文化財が増えたため、達成している。	
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価 評価結果 B (前回評価結果) A
地域の歴史遺産である文化財や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取り組みを計画的に実施することが必要である。また近年、文化財保護行政は関連部局との連携が要求されるようになってきたことから、これに対応できる専門職員の育成も図る必要がある。			

施策No. 1 4

施策評価調書(1)

評価対象年度	25年度
--------	------

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	252-3587	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 古文書等の史料を調査・収集・保管・管理を行うとともに、解読を行い、市民の利活用に供することを目的とする。
--

25年度における取り組みの内容 かつて、市史編さん事業において収集(寄贈・寄託等)した古文書の解読及びデータベース化の推進を図った。	25年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) データベース化することで、収集資料の検索が容易にできるようになった。
--	--

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 古文書史料を解読し、活字化(出版)を推進することにより、市民の利活用に供することを目的とすることから、個人情報や不適切用語の処理等が検討課題である。また、古文書解読者の確保が難しいことや、古文書を管理する設備が不十分であることも課題である。

指標①	名称	古文書解読事業				単位	件数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	所蔵未発表古文書等の解読件数							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	47.0	45.0	20.0	30.0	20.0			
	実績値・達成状況	47.0 達成	45.0 達成	20.0 達成	30.0 達成				
指標②	名称	古文書史料・写真資料データベース化				単位	点数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	データ化予定点数 現在の所蔵古文書等・写真のデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	19000.0	58000.0	80000.0	57000.0	2000.0			
	実績値・達成状況	19020.0 達成	58113.0 達成	80742.0 達成	57009.0 達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算見込額	26年度予算額
	事業費	50	5,656	5,146	6,059	5,989
	概算人件費	0	4,386	4,233	4,233	4,233
	総事業費	50	10,042	9,379	10,292	10,222

事業費及び概算人件費の変動要因	事業費は未解読の古文書の点数や所蔵古文書等・写真数により増加した。概算人件費は解読者数に変化がないため、同等である。
-----------------	--

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	古文書・写真のデータベース化及び解読事業が予定どおりの点数を終了し、達成しているため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
収集した古文書を市民が利活用しやすいように、解読し活用に供するようにする。事業費は未解読の古文書の点数や所蔵古文書等・写真数により増加した。概算人件費は解読者数に変化がないため、同等である。			A
			(前回評価結果)
		A	

